

五城目高校

## 町長ら交えて昼食会 生徒考案弁当味わう



五城目町の五城目高校(石井浩嗣校長)で28日、生活福祉コースの生徒が考案したメニューを基にした弁当を味わう昼食会が開かれた。生徒と一緒に荒川滋町長や石井校長らが彩り豊かなランチを楽しんだ。



町と同校の連携協定「五城目ランチプロジェクト」の7回目として開催。生活福祉コースの生徒7人が栄養バランスや塩分に配慮して考案した昼食メニューの中から、民間団体が9品を選んで弁当にした。弁当は協定に基づき町が提供した。

昼食会で荒川町長は「町は全力で五高(五城目高校)を支える。ランチプロジェクトはその一環。一緒に頑張ろう」とあいさつ。生徒を代表して嵯峨日奈乃さん(3年)は「いつもお弁当をいただき、ありがとうございます。今日は私たちが考案した『高校生が喜びそうなおかず』を楽しんでほしい」と述べた。

荒川町町長は生徒に「ニンジンとツナのきんぴら」などのメニューについて「どうやって思い付いたのか」と質問しながら味わっていた。

協定は9月に結んだ。町は生徒に町産食材を使用した昼食を無償提供し、学校側は食を通じた地域学習で町に対する理解を深めることが狙い。(高橋秀明)